

## 令和元年度第2回文化財保護委員会 抄録

(市民憲章唱和)

### 1 委員長挨拶

### 2 協議事項

#### (1) 今年度の安城市所在の指定文化財管理調査の結果について

(事務局)

【資料説明】資料1のとおり

- ・ 1～3班に分かれ実施
  - 1班：早急に対応が求められる指定文化財はない。
  - 2班：大岡白山神社は至急修理が必要。部分的に応急修理をすることが好ましい。本證寺の石垣の「はらみ」が強く崩れてきており、塀にヒビが入っている。また本堂の濡れ縁と擬宝珠も傷んでおり早急な対応が求められる。
  - 3班：蓮泉寺の「絹本著色 方便法身尊像」「紙本墨書 六字名号」「紙本墨書 九字名号」のいずれも剥落や折れなどの劣化が目立つため、対応が求められる。

(委員)

- ・ 大岡白山神社は部分的に応急処置をしていかなければならない。
- ・ 本證寺の石垣は調査をし、計画をしっかりと立て慎重に進める
- ・ 「現状変更の事務手続き」を周知していかなければならない。
- ・ 管理調査の日程調整をしてほしいという意見が出たが、難しいだろう。
- ・ 無住の寺社で保管されている文化財を博物館に寄託するなど、保護の方法を考えなければならぬ。
- ・ 無住の寺社の指定文化財の管理や、管理者の高齢化や代替りによって今後は寄託や寄贈が必要になってくるかもしれない。
- ・ 信仰対象をレプリカで代用するのは慎重に協議せねばならない。

#### (2) 郷土史出版奨励事業補助金について

(事務局)

【資料説明】資料2のとおり

- ・ 箕輪町内会と和泉町内会から「箕輪町史」と「和泉町史」の郷土史出版奨励事業補助金の申請が出てきたので認可をしていただきたい。

(委員)

- ・ 箕輪町史は新しい時代だけを取り上げており、和泉町史は原始時代から取り上げている。
- ・ 委員で校正をし、伝えることでより良いものを作っていかなければならない。
- ・ 2つとも郷土史出版奨励事業に相当と認め、申請を許可する。

### (3) 令和2年度文化財関係事業の予算要求について

(事務局)

【資料説明】資料3のとおり

- ・本證寺は石垣の「はらみ」が強く崩れかかっており、塀にヒビが入っている。このため早急な対応が求められる。令和2年度に調査、令和3年度に設計、令和4年度に修理工事に入っていく予定。
- ・蓮泉寺の「方便法身尊像」「紙本墨書 六字名号」「紙本墨書 九字名号」はいずれも剥落や折れが目立つ。現在、自己負担分を調整中で石川台嶺150年忌の令和3年度を目途に寄付を募りたい。
- ・大岡白山神社は根本修理が予算不足であるため、2から3年後の応急処置を目標に資金集めをする。

(委員)

- ・石川台嶺の着ていた白衣や、大浜騒動の際に使った竹槍などが市内にある。このようなものも指定し保護する 때가近づいているのではないか。
- ・予算要求については適当と認め許可する。

### (4) 安城市社寺文化財悉皆調査経過報告について

(事務局)

【資料説明】資料4のとおり

- ・今年度より、安城市より愛知教育大学への受託事業として安城市内の社寺文化財（絵画・彫刻・書・工芸）について悉皆調査に着手した。
- ・今年度は明法寺と菩提寺に調査を依頼した。
- ・明法寺から平安時代のもと思われる「御内仏」が発見された。
- ・来年度以降で、悉皆調査をする寺院の候補があったらご教示をお願いしたい。

(委員)

- ・「御内仏」を仮に指定するのであれば、代替品などの問題を考えなければならない。

### (5) その他

(委員)

- ・文化財の管理者への現状変更事務手続きの周知をしていかなければならない。
- ・想定外の自然災害に対し、仮に被災したら文化財の状況をすぐに把握できるようにしておかなければならない。

(事務局)

- ・台風などの自然災害後には確認できる範囲で、文化財の被害状況などを確認している。今回の台風では文化財に被害はなかった。

### 3 報告事項

#### (1) 博物館協議会との合同研修会について

【資料説明】資料5

(事務局)

- ・11月19日(火)に開催するので呼びかけ
- ・刈谷市歴史博物館、旧中埜半六邸、半田赤レンガ建物

#### (2) 第14回安祥文化のさとまつりについて

(事務局)

- ・今年度は歴史博物館が改修工事によって休館しているため10月5日(土)に1日のみ開催した。
- ・歴史博物館のエントランスホールで行っていたことを今年は市民ギャラリーで行った。

#### (3) 安美展について

(事務局)

会 期：前 期 10月25日(金)から11月4日(祝)

後 期 11月8日(金)から11月17日(日)

会 場：安城市民ギャラリー

入場料：無料

その他：日本画、書、工芸、彫塑、洋画、写真の公募作品を展示